

「Teaching Tips 授業改善のための工夫・失敗事例」発行にあたって

平成 27 年度 FD 推進委員会

本冊子には、平成 27 年度前期以前に開講された科目から、授業担当者が授業改善のために実施した工夫事例・失敗事例が掲載されています。掲載事例数は、298 名の教員（専任・非常勤含む）から計 339 事例です（表 1）。

授業形態は、講義 201 事例（59%）、演習 92 事例（27%）、実験 12 事例（4%）、実習 22 事例（6%）、実技 12 事例（4%）でした。受講者数は、40～59 名が最も多く 120 事例（35%）、続いて 100～120 名が 52 事例（15%）、20～39 名 47 事例（14%）、80～99 名が 41 事例（12%）となり、120 名を超える授業も 32 事例（10%）ありました。必修・選択区分は、選択科目が半数超の 178 事例（52%）、必修科目が 141 事例（42%）でした。

取組みのポイントとして、339 事例のうち半数を超える 205 事例で「理解を深める取組み」、171 事例で「意欲・関心を高める取組み」が行われていました。また、72 事例で「発言を促す取組み」が行われ、双方向で授業を進めようという工夫がなされていました。「時間外学習を促す取組み」も 87 事例あり、授業中の取組みと合わせて、授業時間外にも学生の能動的な学習時間を促す工夫がみられました。

各事例の取組みの内容については各ページをご覧ください、今後の授業改善のためにご利用いただければ幸いです。

表 1 掲載事例数

担当者		専任	非常勤講師
開講学科			
大学	大日	6	
	大英	19	
	大教	27	
	大心	19	
	新健	26	
	大環	18	1
	大食	30	
	大情	11	
	大築	14	
	大演	8	
	大応	8	
	新薬	42	
	大康	17	
大護*	18	1	
短大	短日	2	
	短英	1	
	短教	11	
	短心	6	
	短健	4	
	短食	4	
	短生	9	
共通教育	25	1	
大学院・専攻科	4		
前任校科目 (大護除く)	7		
計	336	3	
合計	339		

*大護は内 16 事例が前任校等他校での担当科目

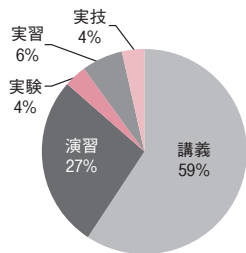


図 1 授業形態 (n = 339)

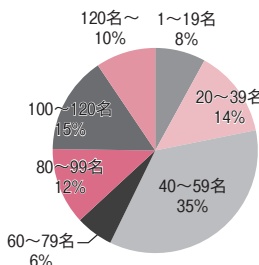


図 2 受講者数 (n = 339)

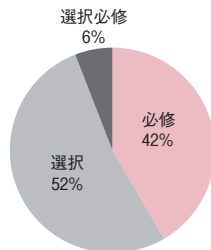


図 3 必修・選択区分 (n = 339)

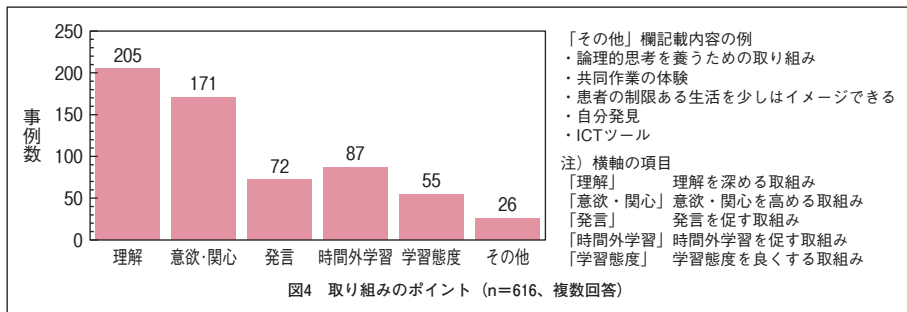


図 4 取組みのポイント (n=616、複数回答)

「その他」欄記載内容の例

- ・論理的思考を養うための取組み
- ・共同作業の体験
- ・患者の制限ある生活を少しはイメージできる
- ・自分発見
- ・ICTツール

注) 横軸の項目

- [理解] 理解を深める取組み
- [意欲・関心] 意欲・関心を高める取組み
- [発言] 発言を促す取組み
- [時間外学習] 時間外学習を促す取組み
- [学習態度] 学習態度を良くする取組み